

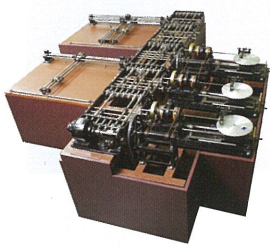
館内MAP

A5 大型計算機

Bushy式アナログ微分解析機

情報処理技術遺産

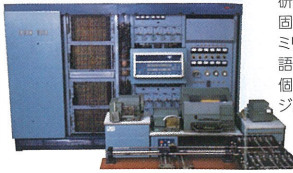
1931年に考案された微分方程式を解くための大型計算機。本学数学科の清水研究室で実際に使用されていたもの。積分器3台、入力卓1台、出力卓1台で構成。



A5 大型計算機

FACOM201パラメトロン電子計算機

1960年から本学で教育・研究用に使用。40ビット固定小数点、加減算1.8ミリ秒、コアメモリ1,024語、パラメトロン約6,000個、真空管170本、トランジスタ約450個。



A2 計算尺

フーラー計算尺

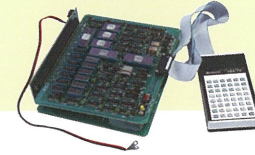
1878年にジョージ・フーラー(英)は螺旋式計算尺を考案し、イギリスのスタンレー商会で製作、販売。この展示品は1916年販売のものであるが初期製品と同型。



A6 パソコン・コンピュータゲーム

トレーニングキット TK80E

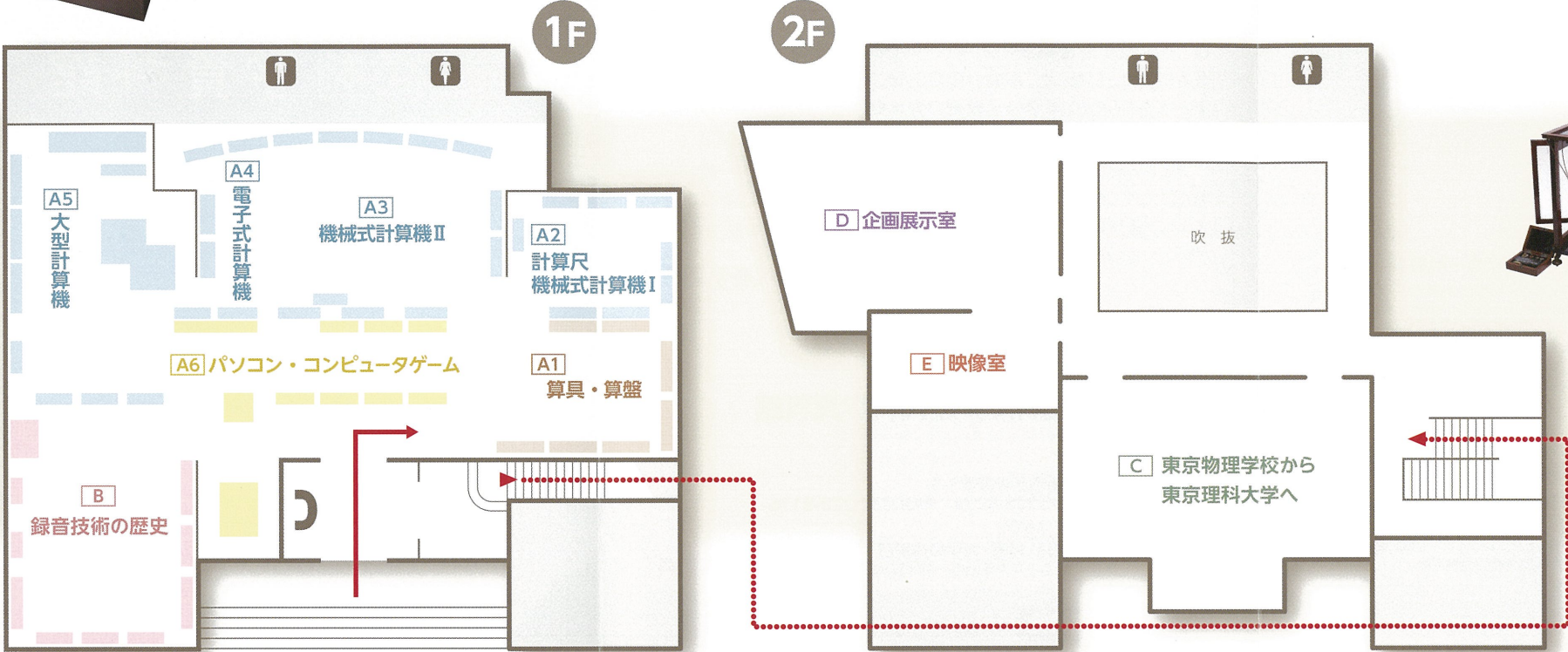
1976年発売の国産初めての8ビットマイコンのトレーニングキット。マイコンブームの火付け役となった。



A6 パソコン・コンピュータゲーム

NEC PC-8001

1979年に発売され、以降、日本もパソコンが実用化される時代となった。8ビット、16KB、4MHz。



C 東京物理学校の資料

化学天秤



1890年守谷商会製第2号機。わが国における化学天秤の2号機で、1号機は大阪の造幣局にあったが戦災で焼失したため、これは現在最古の化学天秤。

C 東京物理学校の資料

多面体模型

明治期の多面体研究者である卒業生で、のちに講師となった菱田為吉(1868~1943)が木材を切り出し作成した65種の多面体模型。彫刻芸術としても評価されるもの。



D 企画展

本学の優れた研究をわかりやすく紹介する「特別企画展示」を年に数回開催

当館は、情報処理学会から「分散コンピュータ博物館」として認定されています。

B 録音技術の歴史



エジソン蓄音器 トライアンプA型

1901年4分演奏できる蝋管蓄音器でラッパの付け根にあるリアプロデューサーをレコーダーと交換することにより、簡単に録音することができた。当時50ドル。

B 録音技術の歴史

ベルリナー蓄音器

1901年頃発売。エミール・ベルリナーが作った円盤式蓄音器。水平方向に振動を記録する。



A1 算具・算盤

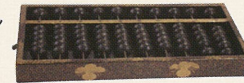
算木

江戸時代中期の一般計算用小型算木と算盤。算盤上に算木(赤と黒)を並べて計算した。



A1 算具・算盤

古そろばん



江戸時代初期の大津播州系そろばんで10桁、天1、地5珠、楕円形。枠は金の蒔絵のほどこされた黒漆塗り、珠は綿柿、桁棒や止金は銀の合金。